

# 令和5年度ホタテガイ採苗情報（第9報）

令和5年6月22日

発行：岩手県水産技術センター

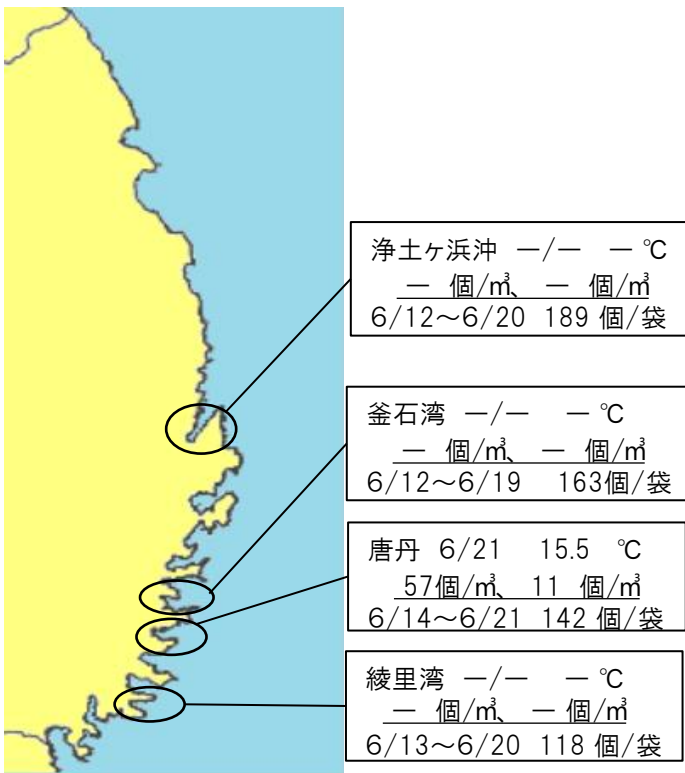
協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター  
関係漁業協同組合



唐丹湾ではホタテガイのラーバは減少傾向  
稚貝の付着数は継続して増加傾向です。

## < 調査結果の概要 >

- 唐丹湾の水深10m層の水温は15.5℃で、透明度は10.0mでした。
- 唐丹湾では、殻長200μm未満の小型のホタテガイラーバが57個/m<sup>3</sup>、200μm以上の大型のラーバが11個/m<sup>3</sup>出現し、大型のラーバが出現する割合もラーバ全体の出現量も減少傾向です。
- 唐丹湾ではホタテガイ付着稚貝が142個/袋（採苗器7日間垂下）確認され、そのうち付着直後と思われる稚貝は少なく、周縁殻が大きく広がった500μm前後の稚貝が大半を占めていました。
- 県下沿岸各地でも稚貝の付着が継続して増加傾向です。
- 例年と異なり、ホタテガイの大型のラーバの出現時期と稚貝の付着時期が遅くなっています。



調査点 調査日 水深10m層水温  
ラーバ出現数(殻長200μm未満、200μm以上)  
試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

図1 各定点の調査結果  
(国土地理院地図 国土地理院HPより)

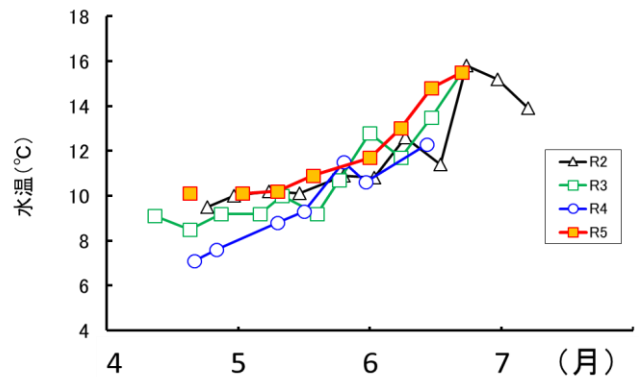


図2 唐丹湾定点における水深10m水温

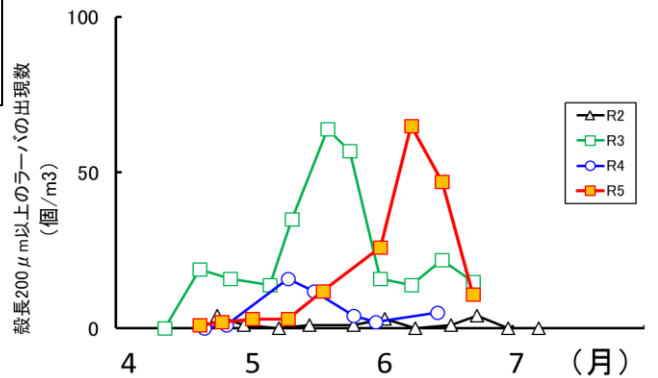


図3 唐丹湾におけるホタテガイラーバ出現数

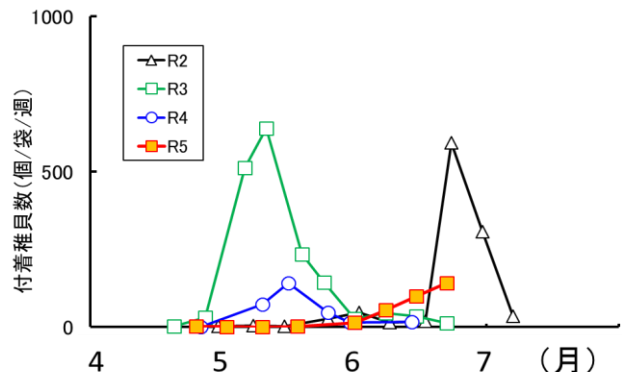


図4 唐丹湾における1週間当たりのホタテガイ稚貝付着数

次報は、6月30日頃に  
発行する予定です。